

News letter

一般社団法人
日本精神保健看護学会
Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing

第81号 | 平成30年
1月19日

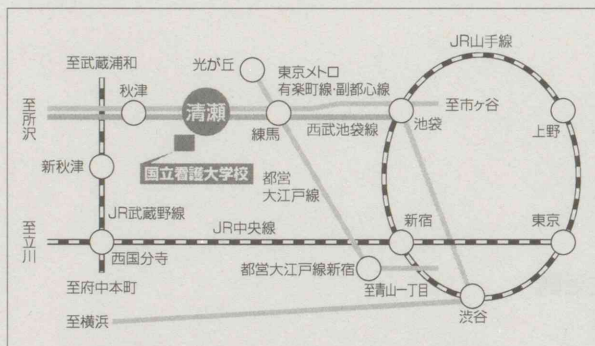
(一社)日本精神保健看護学会事務局：〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
TEL:03-5389-6254 FAX:03-3368-2822 E-mail:japmhn-post@bunken.co.jp HP:http://www.japmhn.jp

日本精神保健看護学会 第28回学術集会・総会が開催されます

日本精神保健看護学会第28回学術集会（学術集会会長 森真喜子）が2018年6月23日（土）・24日（日）に東京都清瀬市の国立看護大学校にて開催されます。学術集会のテーマは「共生社会をひらく 一精神保健看護の力 語る力 受ける力 つくる力」です。

現在、一般演題とワークショップ企画の演題を募集中です。演題登録期間は、2018年1月26日（金）までとなっております。皆様のご参加とご応募をお待ちいたしております。

第28回学術集会・総会 企画委員会



【西武池袋線清瀬駅から国立看護大学校までの所要時間】

- 清瀬駅南口から徒歩にて15分、バスにて5分



(国立看護大学校)

〈演題登録に関して〉

日本精神保健看護学会第28回学術集会・総会

学術集会 URL : <http://web.apollon.nta.co.jp/japmhn28/index.html>

一般演題・ワークショップ募集期間：2017年11月1日（水）～2018年1月26日（金）

事前参加登録期間：2017年11月1日（水）～2018年5月11日（金）

演題募集は、オンライン登録のみの受付です。

〈ワークショップ応募の留意事項〉

第28回学術集会でのワークショップは14枠を予定しています。近年では比較的少ないため、応募が多数の場合には、公式ホームページで公示された要件に基づいて、採択演題が選定されます。

学会の規約が変更になりました

平成29年6月に開催された平成29年度第1回代議員会にて、一般社団法人日本精神保健看護学会の規約が変更になりました。

特に定款が変更されていて、本会の目的や事業など、重要な箇所が変更になっています。

このニュースレターではおもな変更点を中心に解説します。正式な記載については、定款の本文をホームページにて確認くださいますようお願いいたします。なお、ホームページ内の「会員マイページ」にも代議員会の資料を掲載しています。

定款のおもな変更点

1. 本会の目的

本会の目的に、「もって人々の精神の健康と福祉に貢献すること」が追加され、本会の目的は以下のように定義づけられました。

本会は、精神保健看護学の発展をはかり、広く知識の交流に努め、もって人々の精神の健康と福祉に貢献することを目的とする。

2. 本会の事業

事業の記載順序や内容が変更されました。学会誌等の発行を学術集会の開催に次ぐ第2番目の事業と位置づけられました。

〈本会の事業（定款より）〉

- ① 学術集会の開催
- ② 学会誌等の発行
- ③ 研究活動の推進
- ④ 教育および研修事業
- ⑤ 国内外の関連組織との協力と連携
- ⑥ 人々の精神の健康と福祉に貢献するための社会的活動
- ⑦ その他、本会の目的を達成するために必要な事業

3. 代議員の任期と役割

本会は代議員を会員による選挙で決定しています。このたびの定款変更により、代議員の任期は従来の2年間から4年間となりました。また、代議員への連続着任は2期までという制限が設けられました。

代議員会は、会員の入会基準や会費の金額、名誉会員の承認、役員を選任や解任、各種決算書等の承認、定款の変更などの学会の骨格を決定する機会と位置づけられています。

4. 理事、監事の任期と役割

本会は理事と監事を代議員によって決定しています。本学会の理事の任期は2年間で、理事への連続着任は3期まで、監事の連続着任は2期までという制限が設けられています。

理事会では、代議員会や学会総会の開催日時や場所の決定、学会で行っている各種事業の決定、事業計画書や収支予算書の承認などを行っています。1年に4回以上の頻度で理事会を開催することと定款に記載されました。また、監事が理事の職務の遂行を監査しています。

5. 学術集会と学術集会会長

学術集会を年に1回開催することに加えて、学術集会会長を置くことを定款に明記しました。学術集会会長は正会員の中から理事会が推薦して、代議員会と学会総会で報告されます。

以上のように定款が変更されました。

理事会報告

総務委員長 荻野 雅

第3回理事会が9月18日（月）、第4回理事会が11月12日（日）に開催されました。理事会では、代議員会で承認された事業を推進するために各委員会の活動に関する報告、審議や入会審査などを行っています。

第3回理事会では、第3期理事での初めての理事会開催でした。理事長より第3期理事会として、さらなる学会活動の発展を目指し、諸規定の検討や改正、効率的な学会運営に加え、本学会の社会的存在意義を示していくよう方向性が示されました。審議事項としては、各委員会の構成、平成29年度教育活動委員会研修会案、平成30年度研究助成金募集要項案（教育活動委員会）、精神科リエゾンチーム講習会の継続と必要な学術連携について（学術連携委員会）、会計に関する申し合わせ事項案（会計）などがあり、また編集委員会からは学会誌発行の進捗状況が報告されました。

第4回理事会では、前回理事会で継続審議となった、精神科リエゾンチーム講習会の共催について再度審議され、当初の目的が達されたことで一度総括し5年間の評価とともに、今後の連携の仕方を再検討することとなりました。また学術連携委員会では、診療報酬改定に向けて他学会および団体と連携し、外来看護だけでなく遠隔診療における看護などの診療報酬化に向けて他学会および団体と連携していく旨が了承されました。広報委員会からは、今まで本会で作成されてきた、災害時ケアハンドブックやケアガイドラインなどを会員へすぐに活用できるようにウェブサイトの拡充を検討し、今後、会員への学会活動の周知のためにウェブサイトを充実していくことが話し合われました。なお、災害支援に関しては看護系学会協議会と連携を続け、担当者についても検討を続けることとなりました。

災害時ケアハンドブックを活用下さい

広報委員長 安保 寛明

本学会では、東日本大震災の発生した2011年を機に災害支援特別委員会を結成して東日本大震災の被災地で精神保健看護に従事する方々を支援する活動を行いました。

その活動の一環で、「精神科病院で働く看護師のための災害時ケアハンドブック」を作成しました。

完成当時は冊子体として会員へ頒布しましたが、現在はホームページからダウンロード可能にしています。

公式ホームページ <http://www.japmhn.jp/> から、災害時ケアハンドブックをご活用下さい。

●●●● 教育活動委員会主催研修会のお知らせ ●●●●

教育活動委員会では、以下の研修会を予定しています。申し込み方法や内容の詳細はホームページをご覧ください。

1) 自閉症スペクトラム障害を持つ人の理解と対応

日 時：平成30年2月10日（土） 13：00～15：30

場 所：城西国際大学千葉東金キャンパスH棟3階

講 師：遠山梓先生（東京都立小児総合医療センター・精神看護専門看護師）
佐藤梨江先生（医療法人社団草思会 錦糸町クボタクリニック）

2) 動機付け面接を学び、活用しましょう

日 時：平成30年2月17日（土） 13：30～16：30

場 所：福島県立医科大学8号館 S302教室

講 師：関口慎治先生（駒木野病院アルコール総合医療センター／動機付け面接トレーナー）
金田和大先生（東北会病院リハビリ支援部／動機付け面接トレーナー）

3) 家族支援の見立てーレジリエンス・ストレンクス・リフレーミングー

日 時：平成30年3月11日（日） 13：30～15：30

場 所：調整中（関西地方にて開催予定）

講 師：倉石哲也先生（武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科）

詳しい内容や申し込み方法については、学会公式ホームページをご覧ください。

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただきます。皆様からのお原稿をお待ちしております。

*News
letter*

編集後記

▼今号は学術集会の演題登録を促すべく、1月の発行を目指して進んでおります。近年よりも早い時期での発行となるため、関係各位の多大なお力添えをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。（安保）

▼精神科臨床でリワーク（復職）に関わりながら博士後期課程に在籍しています。学生でもあるという立場を活かして、ユーザーの視点から広報と学会の発展に貢献できればと考えています。よろしく申し上げます。（佐藤）

広報委員会 広報委員長：安保寛明（山形県立保健医療大学）

広 報 委 員：甘佐京子、牧野耕次（以上滋賀県立大学）、小山達也（東京女子医科大学）、

松枝美智子（福岡県立大学）、佐藤大輔、高谷 新（以上山形さくら町病院）

（お問い合わせ先）メールアドレス：hambo@yachts.ac.jp TEL：023-686-6735